

# ひめた高宏ニュース

No.1327  
21.2.2

みなさんの願いをまっすぐ市政に届けます。

## 2月になりました。どうなるコロナ?!

キヤウン2日は節分。明日は立春で、なんとも春めいている感じがします。緊急事態宣言は一部を除いて3月7日まで延ばれるとか。まだ10に5を区切るのは無理だといひおすが、どうでしょうか。新年予算案を審査する2日を例市議会は、15日(月)・16日(火)2日間会で決まっています。

## ワクチン接種にかかる予算

前号は、新型コロナウイルスワクチンの接種体制について、厚生労働省が示している実施要綱のスケジュールを紹介しました。これは高齢者の接種が1月か

## フットの入々

<1110>



国会議員もネ  
アハ アハ アハハ  
(リモートオニ会)

する新しい組織を組むことには準備が大変です。私たちがやるべきことに待たざるを待たないでください。

ワクチン接種の総事業費は21~22年度で15億9227万円。そのうちのものは、①予防接種委託料に億9236万5千円で、市内の医療機関に委託して24万9403人の接種率を算出計上し、②コールセンター開設・運営費、億3千2万3千円、③交代し事務手数料と電話料億1千781万2千円、④個別通知の郵送

代と電話料240万6千円、⑤ワクチン小分け業務17万7千2千円、⑥予防接種台帳改修1505万5千円、⑦接種業務の入力業務1229万8千円、⑧ワク

## 今週のフット入々 (273)

### コロナ禍で鬼も困る

例年は2月3日の節分が今年は124年ぶりに2日だそうですね。5年は

「ポイント券の印刷、封入5万6千円、⑨冷凍庫など964万8千円、⑩窓口職員派遣1730万5千円、⑪会計年度任用職員3人の報酬等696万8千円

「フットの巻がすくすくしてす。私がおもつと小さい頃母さまが「たあぞで」年齢の数だけ早く食べる」のがおろの私には不満でしたが、今となってはまったく食べません。

「コロナ禍に深夜、銀座のクラブに滞在した公明党の衆院議員が持職、自民党の3衆院議員は離党するとの話です。今年

「中島の鬼たちに笑われてこの1週間おこせせん。



ひめた高宏

# 道路損傷等通報システム開始

市の道路管理課(073・4351・0888)は、市道における陥没や不法投棄について、市民のスマートフォンからの通報で効率的に解決するためのアプリを導入し、2月1日から運用を開始しました。市民が気づいた道路の損傷をアプリで簡単に写真や位置の情報を通報すると問題を一時的に解決する仕組みです。

通報した道路で市が管理していない道路は、当該道路の管理者に市から情報が提供されます。なお、夜間及び休日の通報は、作業が開始時間となります。

このアプリは、お盆休みから道路管理課のホームページからダウンロードしてください。特に緊急を要する場合は、電話でも通報してくださいとのこと。

# 日本共産党

## 行政サービスの補償を

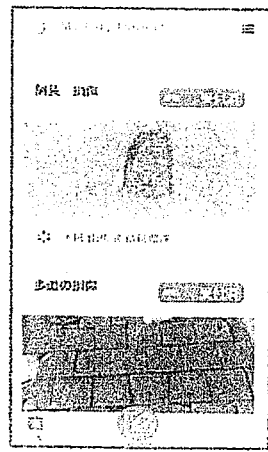
日本共産党の田村智子政策委員は3日、NHK「日曜討論」に出席し、新型コロナウイルスへの対応で政府案から刑事罰が取り下げられたこと

については「当然だ」としながら、行政サービスを盛んにむこうに対しては「感染症の対策に逆行するものであり、反対」と強調。全国保健所長会が罰則に懸念を示す意見を公表していることや、時間短縮を業としていた業者と従業員の生活のためには十分な飲食店・濃厚接触者として自宅待機

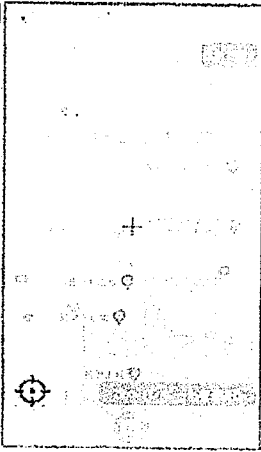
になっても傷病手当もななく生活困難に陥る非正規雇用者の実態などを紹介し、「女性として休める補償、感染した場合に療養に専念できる生活保障」などが実効性だ」と語り、またフロンテア接種を進める上でも医療機関への減収補てんが必要だと強調しました。

「これまで以上に、私ひめだの携帯に、連絡していただいても結構です。」

《通報イメージ》



《ホーム画面》



# 潮流

2.1 日刊 大木Xメディアに載らない記事、知っておくべき情報がある。  
②権力を監視する気概

呼んでも仕方ないとするのか、これは政権による行政の私物化とみるのか。それによって、見える景況が百八十度違ってくる。ジャーナリストの青木理さんは「重要なのはメディアの姿勢」だと、あふれる情報のなかで埋もれてしまいがちな真実や大切なことを伝えたい。現実に苦しんでいる人や社会を変えたいと願う人びとに寄り添い、力になる記事を書きたい。「赤旗」記者に志願してきた同志たちの思いは、果たすべき役割を映しています。▼

「赤旗」記者や、スガ首相の学術会議問題をはじめとするスクープの連発。多くのメディアに取り上げられるほど、いま「赤旗」が注目されています。▼「問題意識を持つなか、た」「世を見ろ会を取材した」「毎日」の記者は自戒を込めています。なぜ「赤旗」にできておれわれにはできなかつたのか。他のメディアや記者が示したのは視点と迫り、その意思の違いでした。▼本紙日曜版の編集長は「政権を握っているから接合会員を

「赤旗」の創刊の周年。国民目線で不公平や不正をたたかい、社会を前に進めるための報道をこれからも。こゝには読者も読者から届いてこざる。「暗い世のなか、この光を照らす」

赤旗 日刊 日曜版 400円 毎月 0909月